



(題字 小黒千足 学長)

第326号

(平成3年8月・9月合併号)



▲ 平成3年度公開講座「地球環境を考える」(於 黒田講堂会議室)

目 次

学 内 諸 報

- ◆ 平成4年度大学入学者選抜大学入試
センター試験入試担当者連絡協議会
(第1回)の開催 3
 - ◆ 第24回東海・北陸・近畿地区国立大学
経理系部長会議の開催 4
 - ◆ 平成3年度外国人留学生との懇談会
の実施 5
 - ◆ 平成3年度(第29回)体育系サークル
リーダー研修会の実施 6
 - ◆ 理学部において交通安全講習会を実施 7
- 人 事 異 動 7

学 事

- ◆ 平成3年度国際交流事業基金による
各種事業の採択一覧 8
- ◆ 平成3年度国際交流後援会事業の
採択一覧 9

寄 稿 海外レポート

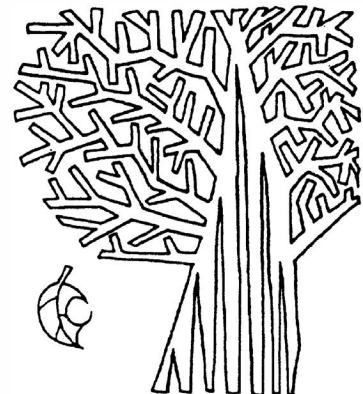
- ◆ 「バーミンガムに滞在して」 11
—— 工学部助教授 山田 茂 ——

関 係 法 令 13

諸 会 議 13

学 内 規 則

- ◆ 富山大学を卒業した者に授与する
学位に関する申合せ事項 15
 - ◆ 富山大学学則の一部改正 16
 - ◆ 富山大学理学部規則の一部改正 16
 - ◆ 富山大学教養部規則の一部改正 17
 - ◆ 富山大学大学院理学研究科委員会
規則の一部改正 18
 - ◆ 富山大学学則等の一部を改正する
規則の制定 18
 - ◆ 富山大学物品管理事務取扱細則の
一部改正 19
- 叙 位 19
- レクリエーション 19
- 海 外 渡 航 者 23
- 職 員 消 息 25
- 討 報 25
- お 知 ら せ 28
- 主 要 行 事 39



〈本学が開催協力して〉

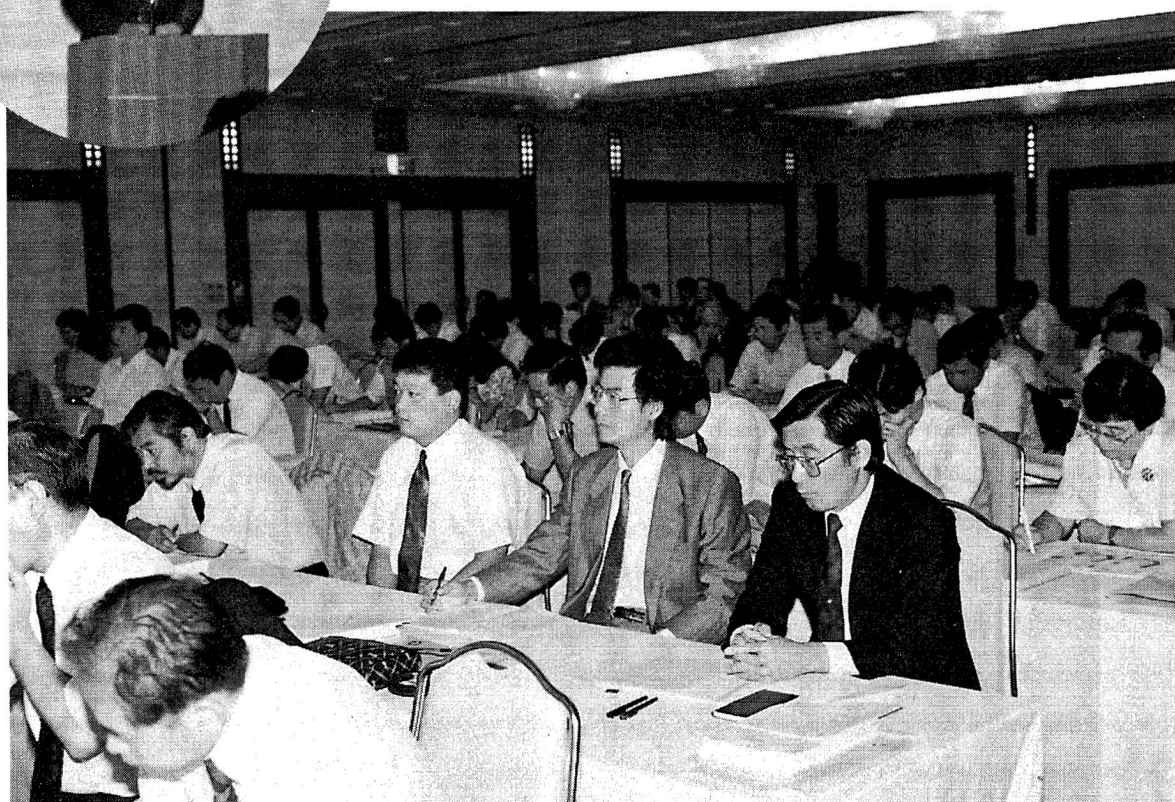
平成4年度大学入学者選抜大学入試センター試験 入試担当者連絡協議会（第1回）を開催

去る8月21日（水）高志会館を会場に、大学入試センター主催・本学協力により「平成4年度大学入学者選抜大学入試センター試験入試担当者連絡協議会（第1回）」が開催されました。

この会議は、平成2年度からスタートした大学入試センター試験を利用する東海・北陸地区の国公私立大学入試担当者が一同に集い、当該年度の大学入試センター試験の実施上の留意点等について説明・協議する

会議で、毎年開催されるものですが、今年は本学が開催協力することになったものです。

会議では、大学入試センターから松本副所長はじめ事業部長等5名の幹部職員が説明に当たり、大学関係者は、本学の学生部長、学生部次長、入試課長等の本部職員と各学部・教養部の学務係長・教務係長など13名の教職員を含む25大学103名が出席し、熱心に説明を聞きメモを取っていました。



本学当番で 第24回東海・北陸・近畿地区 国立大学経理系部長会議を開催

第24回東海・北陸・近畿地区経理系部長会議が、去る8月22日（木）、23日（金）の両日本学が当番校となり、本学事務局大会議室で開催されました。

会議は、地区の15国立大学の経理系部長が参加し、終始熱心な討議が行われました。

なお、会議の協議事項等は次のとおり。

（伺い事項）

1. 平成4年度の概算要求について
2. 平成3年度予算の執行について
（補正予算及び予算の見通しについて）
3. 会計検査院の平成3年度検査状況について

（協議事項）

1. 大型設備の調達に係る仕様策定等に関する取扱いについて
2. 次期当番校について



▲ 熱心な討議が行われた東海・北陸・近畿地区経理系部長会議



— 国立若狭湾少年自然の家を中心に —

外国人留学生と懇談

— 参加者も増え、一層の交流を図る —

毎年恒例となっている外国人留学生と教職員との見学旅行を兼ねた懇談会が、去る9月30日（月）から10月1日（火）の1泊2日の日程で国立若狭湾少年自然の家において実施されました。この懇談会は、中国・マレーシアほか13カ国56名の留学生等と本学国際交流委員会留学生部会委員、日本語・日本事情担当教官等16名、合わせて72名の参加で行われました。

初日は、福井県の三方五湖レインボーラインの景観

を満喫した後、同自然の家において懇談会が行われ、留学生の自己紹介やお国自慢の歌などが披露され、和気あいあいのうちにお互いの親睦と交流が十分深められました。

また、二日目には、同自然の家の職員の指導のもと若狭地方の伝統工芸である若狭塗り箸や和太鼓に挑戦するなど日本の文化にも触れ、楽しいひとときを過ごしました。



▲ お国自慢が披露され盛り上がる懇談会



▲ 和太鼓の指導を受ける留学生

合 宿 研 修

平成3年度(第29回)体育系サークルリーダー研修会

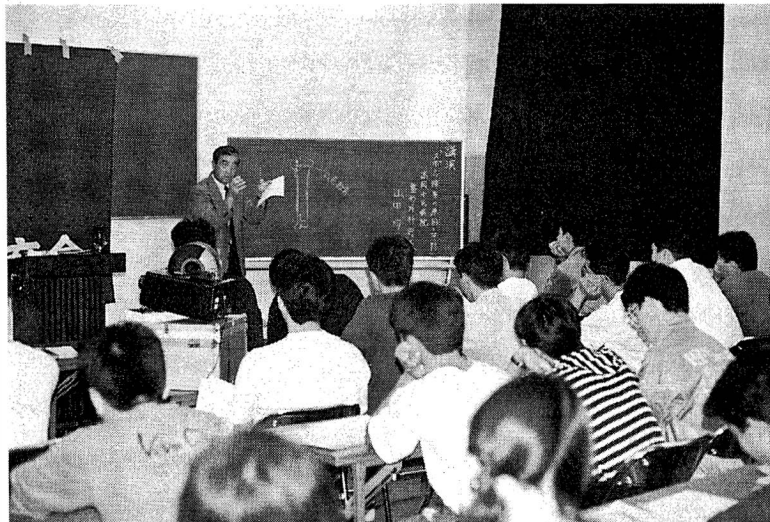
—— 64名の次期リーダーが真剣に取り組む ——

平成3年度体育系サークルリーダー研修会が、去る9月26日(木)から9月28日の2泊3日の日程で、上新川郡大山町の山野スポーツセンターで実施されました。

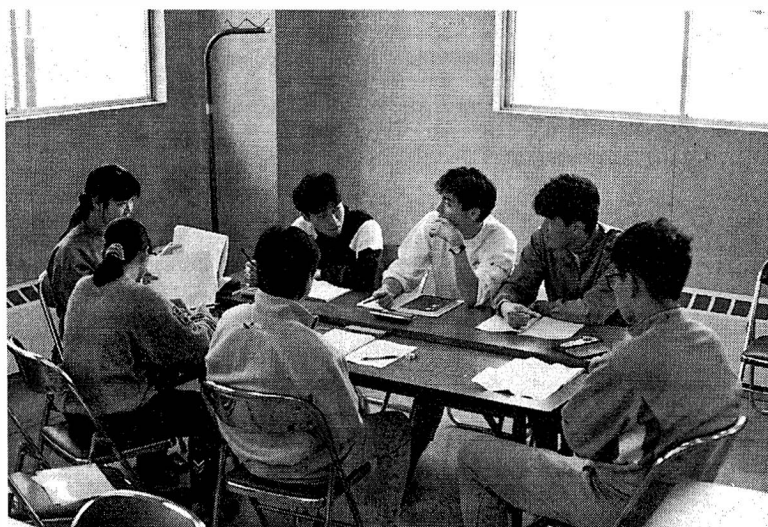
今年度は、体育系サークル、体育会役員ら64名の学生の参加で行われ、次期サークルリーダーとしての資質向上を目指して、講義、分科会、実習と真剣に取り

組みました。

中でも分科会では、「魅力あるクラブ作り」「充実したクラブ活動とは？」の2つのテーマで、各サークル活動の在り方や、体育系サークルの現状、問題点等について検討し、活発な意見交換が行われ、日頃交流の少ない各サークル間の相互理解と親睦を深めることができました。



▲ 講義に聴き入る次期体育系サークルリーダー



▲ 充実したサークル活動を目指して真剣に分科会で討議

理学部生及び理学研究科生を対象に

交通安全講習会を実施

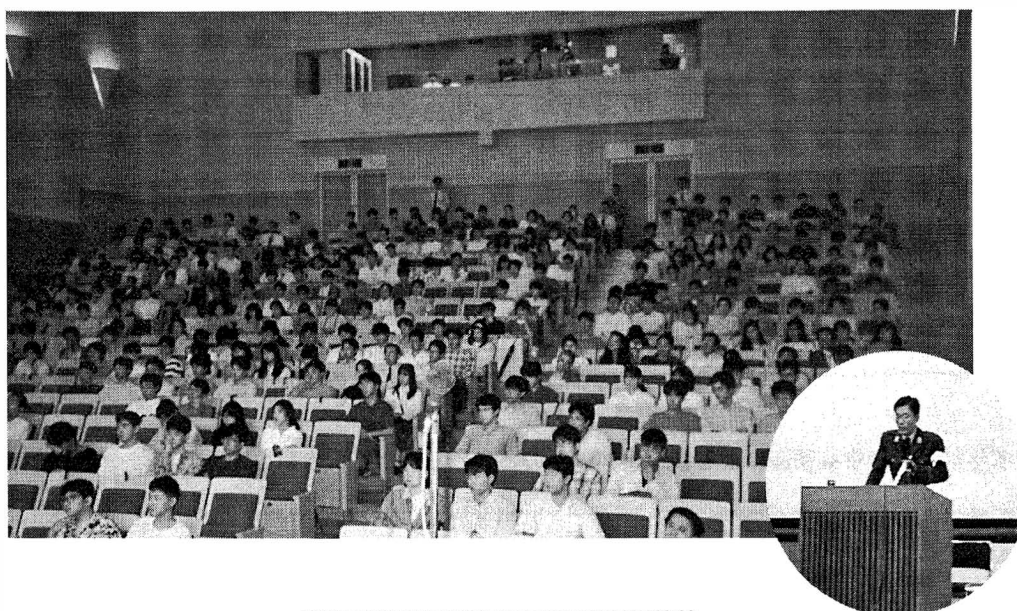
去る9月19日（木）黒田講堂において、理学部生及び理学研究科生を対象に交通安全講習会が実施されました。

この講習会は、同学部学生が昨年に続き本年8月にも人命を失う悲惨な交通事故をひき起こすなど事故が頻発したことを憂慮して、急拠実施されたものです。

講習会では、講習に先立ち、松本理学部長から、このような交通事故を二度と惹起することのないよう十

分注意を喚起されるとともに、交通事故の悲惨さの現状を強く訴えられました。

次いで、講師の富山警察署交通課企画係長から、増加する交通事故の現状と運転者の交通マナーの遵守などについて事例を交えて講話があり、ほぼ満員となった黒田講堂ホールの聴衆に交通事故の悲惨さを改めて認識させる絶好の講習会となりました。



人事異動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	3. 8. 2	細川 智司		技能補佐員（施設課機械操作手）
	3. 9. 1	岡田 裕之		講 師（工学部）
	3. 9. 2	津田 明彦		技術補佐員（経理部主計課）
	”	浅野 一夫		” （ ” ）
	”	多胡 久		” （ ” ）
	”	森野 勇		” （ ” ）
	”	平井 徹		” （ ” ）
	”	梅田 智子		臨時用務員（教育学部作業員）
	”	太田 茂徳		事務補佐員（附属図書館）
	”	林 敏和		” （ ” ）
	”	中村 繁之		” （ ” ）
	3. 9. 24	川原 京子		事務補佐員（附属図書館）
	3. 10. 1	早川英治郎		講 師（教養部）

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採用	3. 10. 1	横畑 泰志		講 師 (教養部)
	"	池田由紀子		事務補佐員 (教育学部)
昇 任	3. 9. 1	奥村 義雄	助教授 (教育学部)	教 授 (教育学部)
	3. 10. 1	小松美英子	助 手 (理学部)	助教授 (理学部)
	"	八木 保夫	助教授 (教養部)	教 授 (教養部)
	"	小林久壽雄	" (")	" (")
	"	森田 弘之	" (")	" (")
	"	井上 逸兵	講 師 (")	助教授 (")
	"	宮尾 幸一	文部事務官 (庶務部人事課)	庶務部人事課職員係職員主任
配置換	3. 10. 1	神谷 重徳	教 授 (教育学部)	教 授 (上越教育大学学校教育学部)
臨時的任用	3. 9. 2	上村美恵子		教 諭 (教育学部附属養護学校)(~4. 3. 31)
休職更新	3. 9. 13	大杉 登	文部事務官 (教養部)	休職の期間を平成4年3月12日まで更新する
辞 職	3. 8. 31	吉田 公美	事務補佐員 (附属図書館)	辞職を承認する
	3. 9. 27	寺崎 章二	教 授 (教育学部)	辞職を承認する
	3. 9. 30	藤井 和美	事務補佐員 (教育学部)	"
退 職	3. 9. 2	上村美恵子	教 諭 (教育学部附属養護学校)	平成3年9月1日限り任期満了により退職した
	3. 9. 20	今村 志保	" (" 附属中学校)	平成3年9月19日限り "
育児休業	3. 9. 2	中西真由美	" (" 附属養護学校)	育児休業を許可する (~4. 3. 31)

学 事

平成3年度国際交流事業基金による各種事業の採択一覧

平成3年度本学国際交流事業基金による各種事業に次のとおり18件が採択されました。

○ 第3種外国留学への奨学事業

氏 名	性別	所属学部・学科	指 導 教 官	留 学 先	留 学 期 間
板 谷 麻 夕	女	人文学部人文学科 西洋史学コース4年	河 村 貞 枝 教 授	ハル大学 (英 国)	平成3年9月1日~ 平成4年5月30日

○ 第3種外国人留学生への奨学事業

氏 名	性別	国 籍	所 属 ・ 学 年	身 分	滞 在 期 間
應 廣 建	男	中 国	人 文 科 学 研 究 科 日本・東洋文化専攻2年	大学院生	元. 4. 1~4. 3. 31
任 建 宏	男	中 国	人 文 科 学 研 究 科 日本・東洋文化専攻2年	大学院生	63. 4. 1~4. 3. 31
張 小 岷	男	中 国	工 学 研 究 科 金属工学専攻2年	大学院生	2. 4. 1~4. 3. 31
朴 垠 貞	女	韓 国	人 文 科 学 研 究 科 日本・東洋文化専攻1年	大学院生	2. 4. 16~5. 3. 31
林 文 嫻	女	中 国	経 済 学 研 究 科 地域・経済政策専攻1年	大学院生	3. 4. 1~5. 3. 31

氏 名	性別	国 籍	所 属 ・ 学 年	身 分	滞 在 期 間
路 慶 鳳	女	中 国	理 学 研 究 科 物 理 学 専 攻 1 年	大学院生	3. 4. 1~5. 3. 31
李 英 丹	男	中 国	工 学 研 究 科 電 気 工 学 専 攻 1 年	大学院生	2. 10. 1~4. 3. 31
CHU SOU SAN	女	マ レ ー シ ア	経 済 学 部 経 済 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
CHAN KEAN HAN	男	マ レ ー シ ア	経 済 学 部 経 済 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
耿 志 宏	男	中 国	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
KHOW YIP KENG	男	マ レ ー シ ア	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
蘇 玉 華	女	台 湾	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
葉 軍	男	中 国	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
TIONG ROBERT NGOK HUNG	男	マ レ ー シ ア	工 学 部 電 子 情 報 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
金 東 一	男	韓 国	工 学 部 電 子 情 報 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
TIANG SEE KEAT	男	マ レ ー シ ア	工 学 部 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
金 承 駿	男	韓 国	工 学 部 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31

平成3年度国際交流後援会事業の採択一覧

平成3年度富山大学国際交流後援会による外国人留学生への宿舎費補助に、次のとおり20件が採択されました。

氏 名	性別	国 籍	所 属 ・ 学 年	身 分	滞 在 期 間
張 小 岷	男	中 国	工 学 研 究 科 金 属 工 学 専 攻 2 年	大学院生	2. 4. 1~4. 3. 31
田 培 丹	女	中 国	人 文 学 部 人 文 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
金 英 蘭	女	韓 国	人 文 学 部 語 学 文 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
劉 晶 紅	女	中 国	人 文 学 部 語 学 文 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31

氏 名	性別	国 籍	所 属 ・ 学 年	身 分	滞 在 期 間
CHU SOU SAN	女	マレーシア	経 済 学 部 経 済 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
HIEW SIEW MAY	女	マレーシア	経 済 学 部 経 済 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
簡 雅 慧	女	台 湾	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
耿 志 宏	男	中 国	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
KHOW YIP KHENG	男	マレーシア	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
徐 鋒	男	中 国	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	2. 4. 1~7. 3. 31
TANG TONG HOW	男	マレーシア	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
朴 性 根	男	韓 国	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
LEE AH KIA	女	マレーシア	経 済 学 部 経 営 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
楊 斌	男	中 国	工 学 部 電 子 情 報 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
金 東 一	男	韓 国	工 学 部 電 子 情 報 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
TIANG SEE KEAT	男	マレーシア	工 学 部 機 械 シ ス テ ム 工 学 科 1 年	学部学生	3. 4. 1~7. 3. 31
吉 斯	女	中 国	人 文 学 部	研 究 生	2. 2. 25~4. 1. 31
林 広 麗	女	中 国	人 文 学 部	研 究 生	3. 4. 1~4. 3. 31
王 鶯	女	中 国	教 育 学 部	研 究 生	2. 11. 13~3. 9. 30
路 慶 英	女	中 国	理 学 部	研 究 生	2. 12. 1~3. 9. 30

寄稿 海外レポート

バーミンガムに滞在して

工学部機械システム工学科

助教授 山田 茂

文部省在外研究員として、1990年10月21日～1991年7月31日まで、イギリスのバーミンガム大学で、研究する機会を得ました。バーミンガムは、ロンドンとマンチェスターのほぼ中間に位置し、産業革命の発祥の地として知られています。イギリスでは、ロンドンに次ぐ第2の都市で、人口は100万人ほどですが、町の中心の規模は、金沢と同じくらいです。

今まで、富山以外の土地で、生活したこともなければ、家族と離れて生活したこともない人間が、息子と2人で、島国であること以外は、ほとんど共通点のない国で生活することになったのですから、出発前は、不安と興味が入り混じった複雑な気持ちでした。バーミンガムへ来て、やはり一番困ったことは、言葉についてであり、最初は全く聞き取ることが出来ませんでした。でも、幸いなことに、バーミンガム大学の同じ科に、日本の企業からの留学生であるAさんが、既に1年余り前から来ておられ、この方に何かと助けていただきました。着いてから2～3日以内に、住む場所を見つけることができると思っていたのですが、なかなか見つかりませんでした。2週間後に、ようやくバーミンガムの郊外の団地に、程よい軒家を指導教授から斡旋していただき、落ち着くことができました。

初めて住むイギリスの家は非常に興味がありました。借りた家は大学から10kmほど離れた団地にあり、幹線道路から1kmほど入った奥に位置していました。高速道路（全て無料）のインターが、すぐ近くにあったのと、バーミンガムがほぼイギリスの中央にあるため、車でイギリスの各地へ出かけるのには、とても便利でした。道路は全て舗装されており、道幅が広く、歩道もあり、かつほとんどの家が前庭を持っているので非常に見通しが良く、しかも直交している道の所には、大きなラウンドアバウンドがあり、交通事故が起こりにくいように作られていました。また、電柱がなく、広告の看板もほとんどないので、道路がとてもすっきりした感じでした。道路に沿って各々の家に順に番号が付けられ、通りの名前と家の番号がわかれば、容易に目的とする家を探し当てることができます。一般に



▲ バーミンガム大学のクロックタワー

住宅地内の道路は行き止まりになるように作られており、車の通り抜けができないようになっています。（ただし歩行者は通れるようになっている。）団地の造成開発は、大手の不動産屋、若しくはデベロッパーが行っているようで、同じ形の家を順に建てていくようです。自己主張の強いイギリス人が、皆同じデザインの1戸建ての家に住んでいるのは大変不思議でした。この団地には2種類のタイプの家があり、1つは車2台が入るガレージ付きの延べ50坪ほどの家と、小生の借りた、車1台用のガレージ付きの延べ40坪ほどの家です。どの家も全て総2階です。ここの団地は、全て1戸建てでしたが、他では、セミdetached（2軒で1棟）や、テラス（4～6軒で1棟）タイプの住宅も多く見かけられ、いずれも総2階あるいは3階建てでした。セミdetachedの場合は、家の右と左で所有者が異なるので、壁の半分が赤で、他の半分が緑に塗り分けてある家も見かけました。普通のイギリス人は街の中心部に住むのを嫌い、郊外の広々とした所に住み、庭いじりをするのが好きなようでした。このため車が必需品であり、車が2台の家が大半でした。また、老人になると平家あるいはエレベータのあるアパートへ移って行くようでした。ですから、この団地では老人はほとんど見かけませんでした。

小生の借りた家の敷地は、約100坪で建物の前と後

ろに庭があり、それぞれ芝生が植えてありました。(庭の手入れは、全くできないと思ったので、契約の際に、芝刈りや除草等は大家さんが行うということにしてもらいました。)それにガレージと小さな納屋がついていました。家の1階には、キッチン、ダイニング、リビング、トイレがあり、2階にはベッドルームが3室と勉強部屋、バスルームがありました。日本から誰が来ても泊まれるようにと、常に一部屋空けて待っていましたが、結局春休みに院生が1人来たのと、ゴールデンウィークに娘が2人来ただけでした。家具類は全て揃っていただけで大変助かりました。また、暖房はガスによるセントラルヒーティングなので、暖房時間設定用のタイマーと温度設定用のセンサのダイヤルをセットすればよく、とても便利でした。特に、朝、ストーブに点火するために起きなくてもよいので、非常に助かりました。その点では、食器洗機も大変役にたちました。温度調節が可能な大型オーブンや電子レンジが備わっていたので、いろいろの料理を楽しむことができました。缶詰のスープやスモークしたにしんやさばの干物を温めるのには、電子レンジは大変重宝でした。また、牛肉が安いので、リブロースの2~3kgの塊を買い、数回ローストビーフを楽しみました。備え付けの包丁とまな板は、小さくて使いものにならなかったのが買い求めました。肉切り用の包丁は日本のものよりも厚く、柄も大きく、しっかりしていて、大変バランスよく、使いやすいものでした。しかも、刃の材質の成分表示がしてあり、安心して買え、値段は日本の半値位でしたので大変気に入りました。(イギリス人は、一般的にはあまり料理に時間をかけないため、包丁とかまな板は簡単なものが多い。)

この団地においても路上駐車が多く、半分以上は車をガレージに入れていません。なぜなら、ガレージが物置になっているからです。小生の借りた家のガレージも、屋外用の長イスや乳母車、ペンキの缶、その他もろもろのものでいっぱいでありました。ガレージは物置であり、また同時に作業場でもあります。家や車の修理、日曜大工等、ほとんど、人の手を借りず自分で行います。庭の手入れ、壁の張り替え、ペンキの塗り替え、家具の取付け、組立等、会社から帰ってからの家での労働量は大変なものです。イギリスのGNPはそれほど高くはないが、イギリス人が家で家族や自分の趣味のために働く労力は大変なものであり、彼らは決してなまくらな人種ではないことが十分に理解で

きました。

パーミンガムへ来て、日本の日常生活から解放されたことの利点は、異文化に接し、それに対して考える時間的余裕が持てたことです。40才を過ぎて自分なりのものの見方、考え方がある程度定着した段階において、価値観の大幅に異なる文化に接する機会を得たことは、非常に意義深く、新鮮なものでした。

最初は日本との対比においてしか物事が考えられず、スーパーマーケット、駅、銀行、郵便局等にときたま見られる長い行列や、列車やバスの発着時間、約束時間等のルーズさが随分と気になりました。しかし、この国の生活様式や考え方が少しずつわかってくると、それらの欠点が逆にこの国の長所ではないかと思えてきました。すなわち、他と競争し、時間を短縮して能率を上げるメリットよりも、それを実行するに当たって必要な物質的、あるいは労働者の精神的負担の増大によるデメリットの方が大きいと判断している場合が多いようでした。日本のように、利用者の便利のため、若しくは経営者の利益のために能率を上げるとは、考えていないようでした。時間や能率よりも、資源を大切にす、ゆったりとした生活を好んでいるようであり、物を非常に大切に扱っているのには感心しました。物を大切に修理に修理を重ねて使い、愛着を増していくプロセスは、経済主義的に見た場合には、とても非能率的であります。しかし、人間の心に視点を移すと非常にかけがえのないもののように思えます。そして、よく手入れの行き届いた古い家、家具、道具や車等は彼らの自慢であります。メンテナンスが十分にされている物は、人間に馴染んでいるという時間的な付加価値



▲ 白と黒のコントラストが美しいレンガ造りの家

値が与えられていると認識されているので、新品よりもはるかに高い値で取引されています。

彼らの人生の目的は、仕事でも、仕事から得られるお金でもなく、家族との生活空間から得られる確かな人生の記憶のように思えました。この満たされた空間を維持するためにお金が必要であり、そのために貴重な時間を労働のために売っているという認識が定着しているようです。スーパーマーケットで、勤務時間の終わったレジ係が、自分のレジについている客に、他のレジへ行くように言ってクローズしていくのを2度経験しました。このように、プライベートの時間と勤務時間とは厳格に区別され、仕事をハードにしてまでお金を稼ごうとする人は少ないようです。人々は自分のライフスタイル（自分の能力）にあった生き方をし、自分の身分については十分に承知しているので、人まねをしたり、背伸びしようとは思わないし、他人をうらやましがることもないようでした。イギリスの教育は、この自分と他人を同一に比較しない価値観を養うために、生徒自身の長所を、生徒に十分に認識させるために、多くの時間をさいているようです。一方、日本の教育は、皆同じ能力であることを前提にしているため、多数の人が出来ることは、当然できるものとして要求されます。このため、個々の生徒は自己の欠点を克服することによって、落伍者になるのを極力避け

ようとするあまり、自分の、他の人よりも優れている能力までも見失いがちになります。日本では善し悪しに関係なく、多数派であれば人々は安心し、どんなに良くても少数派となるとそれなりに大変になってきます。このため、人の行動様式は一律に右にならえになってしまいます。これに対してイギリスでは、日本で言う奇人変人の類の人は、全く奇人変人にならず、ごく普通の人でありえるのは、学校で自己主張型の人間の育成に重点をおいているためと思われる。自分と他人とは能力が異なるのだから、行動様式は異なって当然であり、自分は自分の空間を持っているのだから、十分に幸せであると考えているようです。日本のように、種々の雑多な機能の機器が空間に満ちあふれることによって、生活がハイレベル化することが、人生の幸せであると感じるのではなくて、家族や仲間と、あるいは慣れ親しんだものと空間を共有し、体験を共有できることこそが、人生の喜びであると考えているようです。

筆者は、平成2年度文部省在外研究員として、平成2年10月22日から平成3年8月21日まで「合成多結晶ダイヤモンド工具の切削性能と摩耗機構に関する研究」を研究テーマとして、連合王国等へ外国出張されました。

関 係 法 令

(省 令)

○児童手当法施行規則の一部を改正する省令
(厚生42)

7.19

○人事院規則9-8(初任給、昇格、昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則
(同9-8-16)

7.1

(規 則)

○人事院規則9-2(俸給表の適用範囲)の一部を改正する人事院規則(人事院9-2-13)

7.1

(告 示)

○大学の設置等の認可申請に係る書類の様式及び提出部数の一部を改正する件(文部90)
○在外教育施設として指定する件(同91)

7.26

8.12

諸 会 議

第3回事務協議会(7月4日)

(議 題)

(1) 当面の諸問題について

第2回発明委員会(7月9日)

(審議事項)

(1) 発明の届出について

(2) 富山大学発明規則の改正(案)について

第41回北陸三県大学学生交歓芸術祭運営委員会

(7月10日)

(議 題)

- (1) 第41回北陸三県大学学生交歓芸術祭実施要項(案)並びに同実施細目(案)について
- (2) その他

第3回補導協議会(7月15日)

(審議事項)

- (1) 大学祭について
- (2) その他

第1回廃液処理施設運営委員会(7月16日)

(議 題)

- (1) 平成2年度運営費決算及び平成3年度運営費予算について
- (2) その他

第4回入学試験管理委員会(7月16日)

(審議事項)

- (1) 平成4年度入学試験問題作成主任委員について
- (2) 平成4年度入学試験問題作成委員について
- (3) 平成4年度富山大学学生募集要項(案)について
- (4) 平成5年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程等について

第1回情報処理センター運営委員会(7月18日)

(議 題)

- (1) 平成3年度予算について
- (2) その他

第3回附属図書館商議会(7月18日)

(審議事項)

- (1) 平成3年度図書購入費の選定枠について
- (2) CD-ROMについて

第1回国際交流委員会(7月19日)

(審議事項)

- (1) 平成3年度富山大学国際交流事業基金による第3種事業の採択について
- (2) 平成3年度富山大学国際交流後援会事業による外国人留学生への宿舍費補助事業の選考について
- (3) その他

第6回評議会(7月19日)

(審議事項)

- (1) 平成4年度富山大学工学部編入学試験合格者の判定について
- (2) 富山大学人文学部規則の一部改正について
- (3) 富山大学経済学部規則の一部改正について
- (4) 富山大学工学部規則の一部改正について
- (5) その他

第2回部局長懇談会(7月19日)

(議 題)

- (1) 当面する諸問題について
- (2) その他

第3回大学教育改善検討委員会(7月22日)

(議 題)

- (1) 大学教育改善の具体的方向について
- (2) その他

第1回組換えDNA実験安全委員会(7月24日)

(議 題)

- (1) 組換えDNA実験計画について
- (2) その他

第2回学園ニュース編集委員会(7月25日)

(審議事項)

- (1) 第73号学園ニュースの編集について
- (2) 第74号学園ニュースの発行について

第2回水素同位体機能研究センター運営委員会

(7月29日)

(審議事項)

- (1) 平成2年度運営費決算書(案)について
- (2) 平成2年度運営費予算(案)について
- (3) 機種選定委員について
- (4) その他

第4回大学教育改善検討委員会(8月5日)

(議 題)

- (1) 学部教育の教育課程(卒業要件として必要な授業科目、単位数、必修・選択の別及び実施年次)の編成について
- (2) その他

学 内 規 則

富山大学を卒業した者に授与する
学位に関する申合せ事項

〔平成3年9月20日〕
〔評議会決定〕

学校教育法等関係法令の改正に伴い、学士が学位として位置付けられ、学位を授与するに当たっては、適切な専攻分野の名称を付記することとなったため、富

山大学学則及び富山大学学位規則の改正までの暫定措置として下記のとおり申し合わせる。

記

- 1 富山大学学則第49条の規定及び富山大学学位規則にかかわらず、富山大学を卒業した者に学士の学位を授与する。
- 3 富山大学学則第48条第3項の規定にかかわらず、卒業を認定した者に学士の学位記を授与する。

2 学士の学位に付記する専攻分野の名称は、次の区分による。

- 人文学部 文学
- 教育学部 教育
- 経済学部 経済学
- 理学部 理学
- 工学部 工学

4 学士の学位記の様式は、次のとおりとする。

(人、教、経、理又は工)第 号	富山大学学部長 氏名 印	富山大学学部長 氏名 印	年 月 日	富山大学 学位記 氏名 氏名 年 月 日 生	大学印
--------------------	--------------------	--------------------	-------------	---------------------------------------	-----

本学 学部 学科 所定の
 課程を修めて本学を卒業したことを
 認め、学士()の学位を授与する

5 この申合せは、平成3年9月20日から実施する。

▶富山大学を卒業した者に授与する学位に関する申合せ事項の制定理由

国立学校設置法及び学校教育法の一部を改正する法律（平成3年法律第23号）並びに学位規則の一部を改正する省令（平成3年文部省令第27号）により、学士を学位とするとともに、種類についても定めず、

専攻分野の名称を付記することとなったため、富山大学学則及び富山大学学位規則改正までの暫定措置として、制定するものである。

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成3年9月20日

富山大学長 小黒千足

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

別表第4中「61,800円」を「69,000円」に、「20,600円」を「23,000円」に改める。

附 則

この学則は、平成3年10月1日から施行し、平成4年度入学者から適用する。ただし、平成3年10月1日以後において平成3年度の入学者の入学を許可するときに徴収する入学料の額は、研究生にあつては、60,000円とし、聴講生にあつては、20,000円とする。

▶富山大学学則の改正理由

平成3年6月20日付け文高学第109号・文部事務次官通達に基づき、研究生、聴講生に係る入学料を改訂するため、所要事項を改める。

富山大学理学部規則の一部改正

富山大学理学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成3年9月20日

富山大学長 小黒千足

富山大学理学部規則の一部を改正する規則

富山大学理学部規則（昭和52年5月16日制定）の一部を次のように改正する。

別表物理学の専攻科目の欄中

電 波 物 理 学	4	」を
電 子 工 学 概 論	2	
電 波 物 理 学 I	2	」に、
電 波 物 理 学 II	2	
計 算 機 演 習	2	

「光 学 1」を
「光 学 2」に、
計 52 39」を
計 53 39」に
改める。

別表物理学科の表中

「専攻必修52単位」を「専攻必修53単位」に、
「専攻選択10単位」を「専攻選択9単位」に改める。

別表地球科学科の専攻科目の欄中

岩	石	学	I	2
岩	石	学	II	2
岩	石	学		2
地	質	学	特論	2
地	質	学	特論 I	2
地	質	学	特論 II	2
地	質	学	特論 III	2
地	質	学	特論 IV	2

計	37	89
計	37	93

改める。

附 則

- この規則は、平成3年10月1日から施行する。
- 平成2年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。

▶富山大学理学部規則の改正理由

授業科目及び単位数を整理し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学教養部規則の一部改正

富山大学教養部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成3年9月20日

富山大学長 小黒千足

富山大学教養部規則の一部を改正する規則

富山大学教養部規則（昭和42年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第1項第1号中「、人文、社会及び自然の三分野並びに総合の授業科目」を「、人文、社会、自然の三分野及び総合の授業科目並びに教養ゼミナール」に改める。

別表1の一般教育科目の部中

総	環境科学	社会環境論	4
		自然環境論	4
合		現代社会論	2
		富山の自然	2
		情報と科学	2
		※自然と文化	2
		人権と差別	4
		地球環境論	2

総	環境科学	社会環境論	4
		自然環境論	4
合		現代社会論	2
		富山の自然	2
		情報と科学	2
		※自然と文化	2
		人権と差別	4
		地球環境論	2
		教養ゼミナール	4

改める。

附 則

- この規則は、平成3年10月1日から施行する。
- 平成2年度以前の入学者については、なお従前の例による。

▶富山大学教養部規則の改正理由

一般教育科目の授業科目として教養ゼミナールを開設し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院理学研究科委員会規則の一部改正

富山大学大学院理学研究科委員会規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成3年9月20日

富山大学長 小黒千足

富山大学大学院理学研究科委員会 規則の一部を改正する規則

富山大学大学院理学研究科委員会規則（昭和53年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第2条を次のように改める。

（組 織）

第2条 委員会は、次に掲げる職員をもって組織する。
ただし、次条第1号に関する事項にあっては、研究科長、研究科専任の教授をもって審議する。

- (1) 研究科長
- (2) 研究科専任の教授、助教授、講師

附 則

この規則は、平成3年9月20日から施行する。

▶富山大学大学院理学研究科委員会規則の改正理由
理学研究科の運営をより円滑に処理するため、組織の整備を図り、所要事項を改める。

富山大学学則等の一部を改正する規則の制定

富山大学学則等の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成3年9月30日

富山大学長 小黒千足

富山大学学則等の一部を改正する規則

（富山大学学則の一部改正）

第1条 富山大学学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

第60条中「、国立の学校」を「、国立学校」に改める。

（富山大学大学院学則の一部改正）

第2条 富山大学大学院学則（昭和53年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

第41条中「、国立の学校」を「、国立学校」に改める。

（富山大学専攻科規則の一部改正）

第3条 富山大学専攻科規則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。

第10条中「、国立の学校」を「、国立学校」に改める。

（富山大学教育学部附属学校規則の一部改正）

第4条 富山大学教育学部附属学校規則（昭和41年1月17日制定）の一部を次のように改正する。

第12条中「、国立の学校」を「、国立学校」に改める。

附 則

この規則は、平成3年9月30日から施行し、平成3年7月1日から適用する。

▶富山大学学則等の一部を改正する規則の制定理由

国立の学校における授業料その他の費用に関する省令（昭和36年文部省令第9号）の一部改正により、同省令の題名が改正されたことに伴い、所要事項を改める。

富山大学物品管理事務取扱細則の一部改正

富山大学物品管理事務取扱細則の一部を改正する細則を次のとおり制定する。

平成3年9月30日

富山大学長 小黑千足

富山大学物品管理事務取扱細則 の一部を改正する細則

富山大学物品管理事務取扱細則（昭和35年4月22日制定）の一部を次のように改正する。

第6条中「物品の番号は別表第2の種類別毎に一連番号とする。」を「物品の番号は、別表第2の種類別の所属物品毎に一連番号とする。」に改める。

別表第2備考中「、細分類表」を「、種類別」に改める。

附 則

この細則は、平成3年9月30日から施行する。

▶富山大学物品管理事務取扱細則の改正理由

物品管理の取扱いについて整理し、経理事務の円滑な運用を図るため、所要事項を改める。

叙 位

☆ 元本学教授井上 浩氏は、平成3年8月30日逝去（享年76才）されましたが、同氏の生前の功績に対し、同日付けで正四位に叙されました。

☆ 元本学教授大島文雄氏は、平成3年9月5日逝去（享年89才）されましたが、同氏の生前の功績に対し、同日付けで正四位に叙されました。

☆ 元本学教授倉田軍一氏は、平成3年9月16日逝去（享年86才）されましたが、同氏の生前の功績に対し、同日付けで正四位に叙されました。

レクリエーション

硬式テニスの部で優勝!!

平成3年度文部省共済組合富山地区共同事業体育大会

—— 参加6機関がさわやかな交流の汗 ——

平成3年度文部省共済組合富山地区共同事業体育大会が、去る9月8日（日）残暑の中、富山商船高等専門学校校支部の当番で、同校テニスコート及び体育館で開催されました。

当日は、富山県内6機関が硬式テニスと硬式卓球の2種目に熱戦を繰り広げ、さわやかな交流の汗を流しました。本学からは、各種目に2チームずつ出場し、大いに健闘し硬式テニスの部で見事優勝いたしました。

なお、大会結果は、次のとおりでした。

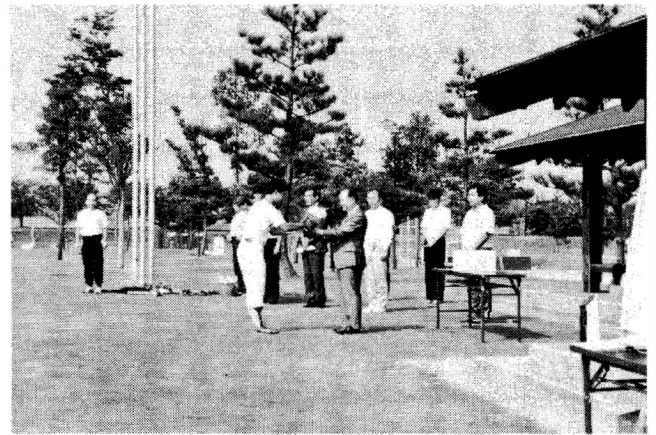
本学チームが優勝と次勝!!

平成 3 年度全国公務員レクリエーション共同行事
富山地区ソフトボール大会

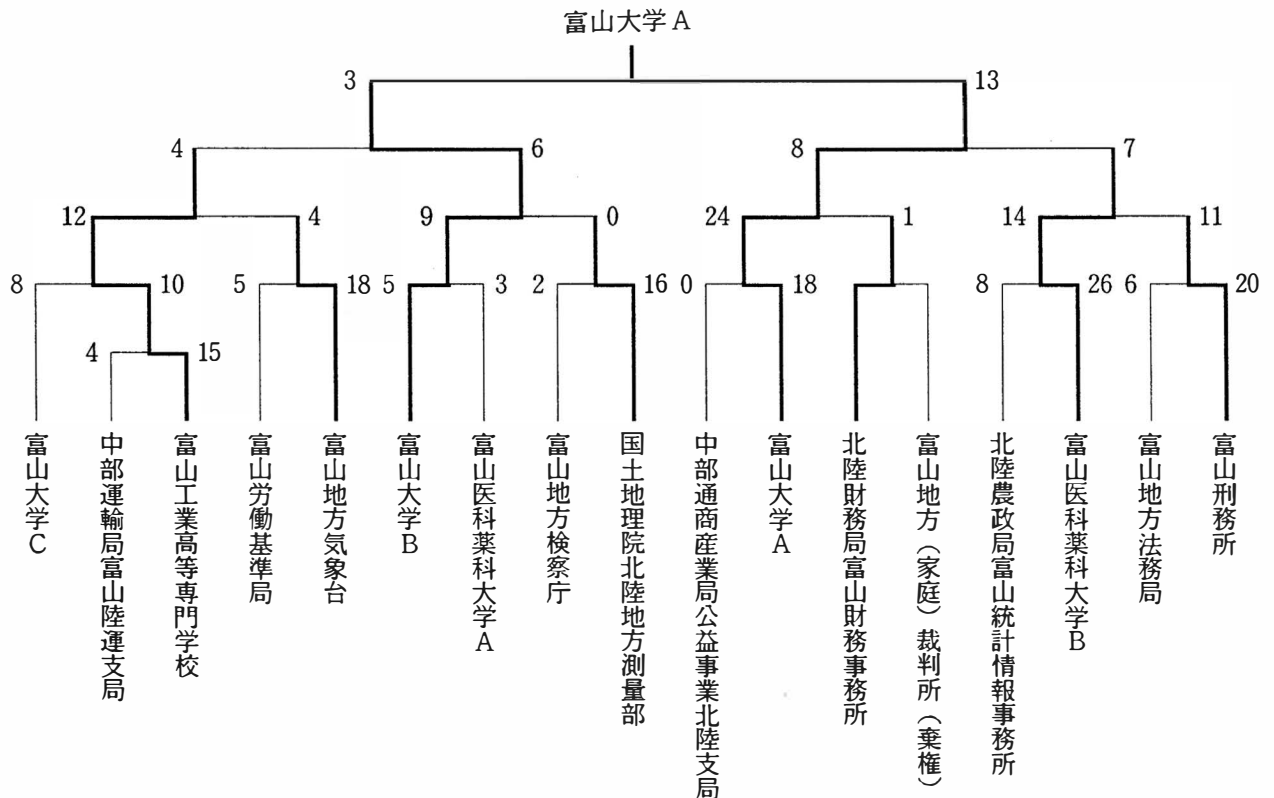
平成 3 年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ソフトボール大会が、去る 9 月 4 日（水）常願寺川公園野球場において開催されました。同大会には、富山地区14機関から17チームの参加があり、本学からは、A、B、C の 3 チームが出場しました。

本学から出場の 3 チームは、それぞれ大健闘し、決勝戦は昨年と同様本学の A チームと B チームの対戦となり、A チームが優勝の栄冠を手中にしました。

なお、大会結果は、次のとおりでした。



▲ 優勝した本学 A チームに優勝杯が授与される



- 優 勝 富山大学 A
- 次 勝 富山大学 B
- 三 位 富山医科薬科大学 B
- ” 富山工業高等専門学校

学内レクリエーション

<釣大会>

本学レクリエーション委員会倶楽部会釣班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成3年度学内釣大会が、去る9月28日(土)午後2時30分から富山新港東防波堤において実施されました。

大会は、16名の参加者により行われ、成績は次のとおりでした。

[入賞者]

- 一位 森田 憲治 (経理部)
- 二位 田中 祥男 (教育学部)
- 三位 杉森 伸平 (学生部)



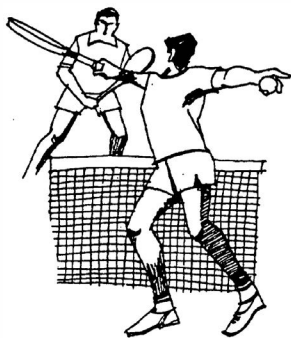
▲ 学内庭球大会

<ソフトボール大会>

本学レクリエーション委員会体育部会ソフトボール班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成3年度部局対抗ソフトボール大会が、各部局から出場の11チームにより平成3年6月24日から10月4日までの間、本学グラウンドで実施されました。

なお、成績は次のとおりでした。

- (優勝) 工学部Aチーム
- (次勝) 工学部Bチーム



<庭球大会>

本学レクリエーション委員会体育部会庭球班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成3年度学内硬式庭球大会が、去る9月21日(土)本学軟式庭球場及び硬式庭球場において実施されました。

大会は、約70名の参加者を得て、男子10チーム(部局対抗の団体戦)及び女子5チーム(ダブルス)により行われ、成績は次のとおりでした。

- ◆ 男子(団体戦)
 - (優勝) 教養部チーム
 - (次勝) 工学部Aチーム
- ◆ 女子(ダブルス戦)
 - (優勝) 田中(経)、沢崎(図)ペア
 - (次勝) 森山(工)、西部(工)ペア

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	教育学部	教授	田中 晋	ソビエト連邦	極東地域の河川生態系の構造と機能に関する研究	3. 7. 8 } 3. 7. 29
	工学部	助教授	吉川 和男	アメリカ合衆国	SPIE1991、応用工学国際シンポジウムに出席及び非球体形状の測定法に関する研究討論、研究資料の収集	3. 7. 13 } 3. 7. 27
	教養部	助教授	藤田 正春	〃	コンピュータによる日本語教育に関する調査	3. 7. 18 } 3. 7. 28
	理学部	助手	吉田 尚弘	タイ	熱帯林泥炭地におけるガス特性に関する調査	3. 7. 29 } 3. 8. 9
	人文学部	教授	三寶 政美	中華人民共和国	友好学術交流協定を締結している遼寧大学との事務打合せ、中国の高等教育事情視察及び魯迅研究	3. 8. 11 } 3. 9. 9
	事務局	事務局長	勝山 進	〃	友好学術交流協定を締結している遼寧大学との事務打合せ及び中国の高等教育機関の教育研究事情視察	3. 8. 11 } 3. 8. 16
	〃	庶務課 課長補佐	岡田 東彦	〃	〃	〃
	理学部	助教授	川崎 一朗	オーストリア	国際測地学地球物理学連合総会出席及び研究発表のため	3. 8. 12 } 3. 8. 24
	経済学部	〃	太田 雅晴	中華人民共和国 香港、台湾	第11回経営工学国際会議に出席及び東アジア地域の新興工業国におけるIndustrial Engineeringの課題と経営工学分野の教育状況に関する調査研究	3. 8. 16 } 3. 8. 30
	人文学部	〃	油谷 幸利	大韓民国	韓国語資料のコンピュータ入力及び処理の効果的な方式に関する会議に出席並びに資料収集	3. 8. 20 } 3. 8. 26
	〃	〃	水内 俊雄	ドイツ、トルコ	西ヨーロッパ諸国とトルコの都市空間構造に及ぼすトルコ移住民に関する社会地理学的研究のための現地調査	3. 8. 20 } 3. 9. 26
	経済学部	教授	中藤 康俊	ソビエト連邦	資源・環境問題に関する視察調査及び研究交流打合せ	3. 8. 24 } 3. 9. 3

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	経済学部	助教授	岩崎 政明	アメリカ合衆国	国際通信に関する課税問題に関する実態調査・資料収集	3. 8. 30
						3. 9. 15
海外研修旅行	人文学部	講師	根津由喜夫	ギリシア、トルコ エジプト イタリア	ビザンツ文化圏の遺跡調査と資料収集	3. 7. 6 3. 8. 29
	教育学部	〃	吉田 雅巳	アメリカ合衆国	日食観測及び日食前後の生物の生態変化について研究のため	3. 7. 9 3. 7. 16
	人文学部	助教授	大工原ちなみ	連 合 王 国 イ タ リ ア フ ラ ン ス	ユダヤ文学及び思想についての資料収集	3. 7. 12 3. 8. 25
	教養部	教授	小島 覚	カ ナ ダ	カナダ極圏の植生研究	3. 7. 16 3. 9. 2
	経済学部	〃	居林 次雄	連 合 王 国	会社法に関する研究（英国会社法の改正動向調査）及び資料収集	3. 7. 17 3. 8. 3
	教養部	〃	藤井 昭二	中華人民共和国 パキスタン	国際対比計画274及び第8回国際第四紀学会において研究発表のため、乾燥地形と氷河地形研究のため	3. 7. 22 3. 8. 25
	理学部	助教授	松島 房和	アメリカ合衆国	遠赤外分光装置の開発について研究打合せ	3. 8. 7 3. 8. 29
	教養部	教授	神垣 知夫	連 合 王 国 アイルランド共和国	磁気国際会議及び中性子散乱国際会議に出席並びに研究資料の収集	3. 8. 14 3. 9. 18
	〃	〃	鈴木 邦雄	イタリア、スイス	第11回国際蜻蛉学シンポジウムにおいて研究発表及び研究打合せ	3. 8. 18 3. 9. 1
	教育学部	助教授	奥村 義雄	中華人民共和国	中国社会科学院社会学研究所、中国社会学会と関西の社会学研究者との学術交流のため	3. 8. 21 3. 8. 29
	教養部	〃	石川 義和	フ ラ ン ス 連 合 王 国	磁気国際会議に出席及び磁気に関する研究打合せ	3. 8. 26 3. 9. 7
	理学部	助手	大藤 茂	オ ラ ン ダ フ ラ ン ス スペイン、スイス	国際会議参加及びピレネー山地の地質見学等	3. 8. 26 3. 9. 23
	〃	教授	櫻井 醇児	連 合 王 国 フ ラ ン ス	国際磁気会議参加及び研究打合せのため	3. 8. 29 3. 9. 13

職 員 消 息

《新任者住所》

経理部経理課

管理係長 塚 田 健 夫

文部事務官 武 田 正 夫

《住所表示変更》

庶務部庶務課

文部事務官 山 上 康 彦

経 済 学 部

学生主任 北 野 悦 郎

教 育 学 部

会計係長 田 中 祥 男

工 学 部

講 師 岡 田 裕 之

(物性デバイス工学)

附 属 図 書 館

事務補佐員 澤 崎 直 美

《住所変更》

教 養 部

助 教 授 成 田 節

(ドイツ語)

《改 姓》

附 属 図 書 館

事務補佐員 澤 崎 直 美 (旧姓：野村)

訃 報

富山大学名誉教授 井上 浩氏逝去



本学名誉教授井上 浩氏が、平成3年8月30日、心不全のため逝去されました。享年76歳。

同氏は、昭和11年3月仙台高等工業学校電気工学科を卒業後、同年同月東北帝国大学附属電気通信研究所勤務、同14年3月同大学工学部電気工学

科副手、同年12月同学科助手、同26年4月富山大学工学部講師、同29年10月同学部教授を歴任のうえ、同56年4月停年により退官され、その後同61年3月まで金沢工業大学教授として勤務されました。

この間、同氏は、50年余りにわたり、卓越した教育・研究者として、特に専門の通信工学、電子回路工学及び電子計算機工学の分野において、格調高い講義及び熱心な実験・実習指導を通じ、多くの有為な研究者及び工業技術者を育成されました。

研究面においては、通信工学上必須のろ波器の設計、

電気工学上の微分方程式の解法、非線形回路の研究等難解な問題に取り組み、その成果は、今日の各種発信器、フェイズロック等の開発に大きく貢献しており、また、昭和26年頃はまだ黎明期にあった電子計算機の研究、アンテナの研究、レーザーの研究等において、各種非線形の解析技術を応用しその発展に寄与されるなど、多岐にわたる研究に従事されました。これらの研究成果を多数の著書・論文として公表し、学界・産業界から高く評価され、特に論文題目「中波送信空中線の能率の改善」により、昭和58年テレビジョン学会から「丹羽高柳論文賞」を受賞されました。

また、学内にあっては、評議員（1期2年）及び附属図書館工学部分館長（1期2年）等を勤められ、本

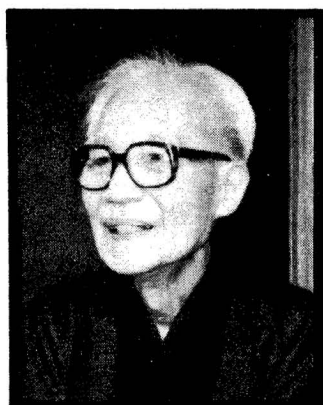
学の管理運営に尽くされるとともに、工学部電子工学科及び大学院工学研究科電子工学専攻の設置に中心的役割を果たされ、さらには本学計算機センター（現情報処理センター）の設置に意を傾注しその実現を図るなど本学の拡充発展に大きく貢献されました。

学外にあっては、電気学会北陸支部評議員、同北陸支部長及び電子通信学会北陸支部長等として斯学会の運営、発展に寄与されました。

これらの功績により、昭和56年4月富山大学名誉教授の称号を授与され、次いで、昭和63年11月勲三等旭日中綬章を受けられました。

ここに、同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

富山大学名誉教授 大島文雄氏逝去



本学名誉教授大島文雄氏が、平成3年9月5日胸部動脈瘤破裂のため逝去されました。享年89歳。

同氏は、大正15年3月東京帝国大学文学部を卒業後、昭和2年4月富山高等学校教諭兼富山高等学校教授、同18年5月富山高等学校教授に任ぜら

れました。

この間、大正15年4月から昭和2年3月まで、同12年8月から同14年12月まで、同19年7月から同20年9月まで兵役に従事され、同17年12月正五位に叙せられました。

昭和24年5月富山大学の設置により富山大学文理学部教授に就任し、同42年4月教養部教授に配置換となり、同43年3月停年により退官されました。

また、退官後も引き続き富山女子短期大学教授として昭和50年3月まで勤務され、48年の永きにわたり「国文学」担当の教授として、常に厳正な姿勢をもって教育に専念するとともに、温顔に笑みを浮かべ慈愛をもって指導に傾注され、有為な人材の育成に大いに尽力されました。

同氏は、万葉集を中心とし、万葉歌を精神史あるいは思想史的立場で考究するとともに、江戸時代の万葉

学者についても精力的に研究を行い、「下河辺長流の研究」その他の論文を発表し、学界はもとより、各界においても高く評価されました。

学内においては、附属図書館長、学生部長を各1期勤め、特に、昭和35年に発生した立山連峰赤谷山遭難事件では、その救援捜査活動に自ら関係機関との連絡調整に奔走されました。また、昭和42年4月文理学部の改組により教養部が設置されると同時に評議員を併任するとともに、同年10月から初代教養部長として、発足間もない教養部の充実強化に努めるなど管理運営に参画し、大学の発展に多大な貢献をされました。

また、同氏は、地域社会における教育、文化、行政にも意欲的に取り組み、昭和44年3月から富山市教育委員会委員に、同45年10月から同48年12月まで富山市教育委員会委員長を勤め、市教育行政に指導的役割を果たされました。更に、戦後の精神的虚脱状態の中で、青少年の精神陶冶への尽力は大きく、富山県下における諸学校等の校歌設定について、その歌詞を作詞すること88篇にも及び、また、富山県ユネスコ協力の活動にも深くかかわり、児童、生徒への精神的感化が深くゆきわたっています。

昭和47年10月富山県芸術文化協会の発足に参与して副会長に、同57年5月から会長に、平成2年5月から名誉会長としてひたすら富山県内の芸術文化の発展に寄与し、特に、国際化の時代に当たって県内演劇サークルの海外公演に尽力されました。

これらの功績により、昭和43年6月富山大学名誉教授の称号が授与され、次いで、同47年11月には勲二等瑞宝章を受けられるとともに、同54年11月富山市名誉

市民の称号が授与されました。

ここに、同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

富山大学名誉教授 倉田軍一氏逝去



本学名誉教授倉田軍一氏が、平成3年9月16日急性肺炎のため逝去されました。享年86歳。

同氏は、昭和4年3月東京帝国大学医学部薬学科を卒業後、同年4月東京市衛生試験所技手を経て、同9年5月富山薬学専門学校教授となり、昭

和24年5月同校が富山大学に包括されたことに伴い、同25年1月兼ねて富山大学助教授となり、同26年3月富山大学富山薬学専門学校の課程が廃止されたことにより富山大学薬学部助教授に就任し、同36年3月富山大学薬学部教授となり、同46年3月停年退官されました。

この間、同氏は、卓越した教育者、研究者としてその職務を遂行し、高邁な人格と誠実な人柄、そして、高い識見により富山薬学専門学校及び同校を包括した富山大学において、約37年の教職期間を通じ、更にその後の名城大学における7年の間、「衛生裁判化学」を担当して、その教育研究に専念されました。そして、格調の高い講義と熱心な実習指導によって2千数百余名の有能な人材を育て、薬業界へ輩出されました。

また、大学の管理運営面においては、富山大学評議

員として2期4年にわたり、特に、富山大学五福集中計画に伴う薬学部及び文理学部の移転、大学院薬学研究科（修士課程）の設置、薬学部附属和漢薬研究施設の設置など大学の整備充実に寄与し、大学の発展に大いに貢献されました。

また、研究面においては、食品衛生、環境衛生、裁判化学等多岐にわたって研究成果を挙げ多くの学術論文を発表し、その研究業績は高く評価されています。中でも豊富な天然資源キチンの利用開発に伴う化学的及び酵素化学的な基礎面を解明した「含窒素多糖類キチンに関する研究」や、ビタミンB₁のアルカリ性分解におけるアミノ酸、アミン類存在下の反応を解明し、同反応成績体の抗B₁作用を明らかにした「ビタミンB₁の拮抗物質の開発研究」は特筆に値するものがあり、斯界の研究進展に大きく寄与されました。

更に、昭和25年から同41年6月まで日本薬学会衛生調査会委員、同28年1月から同38年3月まで同学会犯罪化学調査会委員、同41年4月から同43年3月まで同学会評議員を歴任され、同学会の発展に多大の寄与をされました。

これらの功績により、昭和46年4月富山大学名誉教授の称号が授与され、次いで、同51年5月勲三等旭日中綬章を受章されました。

ここに、同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

お 知 ら せ

平成3年8月7日

人事院勧告の概要

人事院は、平成3年8月7日（水）国会と内閣に対し、国家公務員法及び一般職の職員の給与等に関する法律の規定に基づき、一般職の職員の給与及び週休2日制等について報告及び勧告を行いました。

勧告の骨子は、次のとおりです。

<給与勧告の骨子>

勧告に際しては、社会経済情勢全般の動向を踏まえつつ、民間給与との均衡を図ることを基本とし、広く各界から意見聴取を行うなど様々な角度から検討

一 官 民 較 差

1 較 差 11,244円 3.71% (内訳 本較差 3.03% 遡及改定分 0.69%)
 昨年 10,728円 3.67%

2 改 善 俸給 10,267円 諸手当 900円 はねかえり分 639円 計 11,806円
 なお、改善には、本省庁の官民対応関係の一部変更による増加額562円も充当

行政職(一)・(二) 現行給与 302,851円 平均年齢 39.9歳

二 改 定 の 内 容

1 俸 給 表

(1) 初 任 給

人材確保の必要性等にかんがみ、相当程度の俸給月額の改善

試 験		俸 給 月 額	調整手当を含んだ額 (東京、大阪等の場合)
大学卒	I種試験	168,000円 (現行157,300円)	184,800円 (現行173,030円)
〃	II種試験	153,700円 (現行143,100円)	169,070円 (現行157,410円)
高校卒	III種試験	124,900円 (現行117,300円)	137,390円 (現行129,030円)

(2) 配 分 傾 向

若年層に重点配分

行	級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
(一)	引上率 (%)	6.5	6.5	4.8	3.9	3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	4.0

なお、本省庁職員を念頭に置いた特別改善

(3) 各俸給表 行政職との権衡を考慮しつつ改定

(公安職、若手研究員、看護婦、大学教官に特別改善)

指定職俸給表 5.0% (昨年に引き続き行政職を若干上回る改善)

2 手 当

(1) 扶養手当の改定

ア 子等配偶者以外の扶養親族2人まで 1人につき 4,500円 → 5,500円

イ 配偶者のない職員の扶養親族1人 10,500円 → 11,000円

ウ 児童手当との調整を廃止

(2) 通勤手当の改定

- ア 交通機関等利用者 全額支給限度額の引上げ 30,000円 → 40,000円
($\frac{1}{2}$ 加算を加えた最高支給限度額は45,000円、50,000円までの運賃に対応)
- イ 交通用具使用者 片道30km以上に新たに2区分増設
- | | |
|--------------|-----------------|
| 30km以上35km未満 | 14,600円 (現行どおり) |
| 35km以上40km未満 | 16,700円 |
| 40km以上 | 18,800円 |

なお、指定職の運賃等負担通勤者に対しても通勤手当を支給

(3) 医師の初任給調整手当の改定

- ア 医療職(-)の医師 最高 265,000円 → 276,000円
- イ 医療職(-)以外の医師 (医系教官等) 最高 47,000円 → 48,500円

(4) 宿日直手当の改定

- ア 一般の宿日直 2,300円 → 2,900円
- イ その他の宿日直 800円～1,000円の引上げ

(5) 期末・勤勉手当の改定

12月期の期末手当 2.0月分 → 2.1月分 (年間支給割合 5.35月分 → 5.45月分)

(6) 俸給の特別調整額等

- ア 本省庁課長補佐……………俸給の特別調整額(6種8%)を支給、超過勤務手当等と併給
- イ 5種以上の俸給の特別調整額の適用者及び……………管理職員特別勤務手当を新設
指定職俸給表の適用者の週休日等の勤務

3 看護婦の特別改善

- (1) 若年・中堅層の看護婦を中心に俸給月額の特例改善
- (2) 7級を新設(極大規模の医療機関の看護部長に適用)
- (3) 俸給の調整額の調整数1相当分を俸給月額に繰入れ

4 大学教官の特例改善

- (1) 助教授等の中堅層を中心に俸給月額の特例改善
- (2) 教育、研究指導の負担の特に大きい大学院担当教官等……………俸給の調整額の新規適用又は調整数の引上げ
- (3) 管理業務の負担の大きい評議員等の教官……………俸給の特別調整額の新規適用

5 昇格制度の改善

- 行政職俸給表(-)4級以上等(初任の級以外
の級)への昇格後の号俸……………
- | | |
|---|-----------------|
| { | 1号俸上位 |
| | (平成4年度から漸新的に実施) |
| | 所要の在職者調整を実施 |

三 実施時期

- 1 平成3年4月1日 2及び3以外
- 2 平成4年1月1日 扶養手当と児童手当との調整措置の廃止、宿日直手当の改定、本省庁課長補佐に対する俸給の特別調整額の支給、管理職員特別勤務手当の新設等
- 3 平成4年4月1日 昇格制度の改善

四 標準生計費算定方法の見直し

- 1 2人～5人世帯の推計式の変更・1人世帯の算定分離
- 2 食料費の算定……………マーケット・バスケット方式の廃止

五 今後の課題

- ・官民給与の比較方法及び調整手当の支給割合等配分の見直しについて言及
- ・人材確保のため、各省庁の人材の活用・勤務環境の整備等の重要性などを指摘
- ・高齢社会に対応した人事行政諸施策に関し、1年程度を目途に基本的な方向を策定すべく問題点の把握、検討を進める旨表明

＜完全週休2日制報告・勧告の骨子＞

〔完全週休2日制の内容〕

- ① 日曜日及び土曜日は勤務を要しない日とする土曜閉庁方式による完全週休2日制を基本とし、交替制等職員については、弾力的な運用が可能になるように措置
- ② この改定は、平成4年度のできるだけ早い時期に実施

1 完全週休2日制をめぐる諸情勢

(1) 国全体の労働時間短縮の推進

- 経済運営5カ年計画（昭和63年度～平成4年度）

〔昭和63年5月27日閣議決定〕

- ・ 完全週休2日制の普及を基本に、おおむね計画期間中に週40時間労働制を実現し、年間総労働時間を1800時間程度に向けできる限り短縮
- ・ 公務員の週休2日制の推進は、完全週休2日制への社会的気運を高めることに資するもの

(2) 民間事業所における週休2日制の実施状況（平成3年4月現在）

区 分	適用従業員割合	実施事業所割合
完全週休2日制相当	58.4% (49.6%)	40.1% (31.7%)

（注1）（ ）内数は昨年の結果

（注2）「完全週休2日制相当」は、完全週休2日制の割合に、年間休日数からみて完全週休2日制に相当すると認められる割合を加えたもの

(3) 土曜閉庁の定着状況

おおむね順調に実施され、国民生活に定着

(4) 週40時間勤務制施行の実施状況等（平成3年7月15日現在）

- 非現業国家公務員約50万人のうち、完全週休2日制へ移行できるとして施行を実施しなかった職員及び施行を終了した職員（約41万人）については、完全週休2日制・週40時間勤務制への移行の態勢は整っていると認められる

○ 試行の実施状況

- ・ 試行対象職員（約216,000人）

- ・ 試行終了職員（約124,000人）

- ・ 試行終了部門の状況を全体としてみると、試行はおおむね順調に終了（試行の実行率：97.1%）

- ・ 試行実施中職員（約39,000人）

- ・ 国立大学附属病院の職員・港湾建設局浚渫船の船員—現在までのところ、おおむね順調に実施
- ・ 国立大学附属学校の教員—学校週5日制の調査研究を踏まえてできるだけ速やかに対応

- ・ 試行未実施職員（約53,000人）

- ・ 国立病院・療養所等の職員—本年9月から一部試行実施の予定。関係者全体の努力により、速やかに試行を実施し、試行を通じて問題点の把握と対応策の検討を進め、早急に本格実施への態勢を整えることが必要

(5) 各界の意見

- 「社会全体の労働時間短縮の流れを促進するためにも、公務が完全週休2日制を早期に実現すべきである」とする意見が大半

(6) 学校週5日制の検討状況

- 所管省庁において、学校週5日制の調査研究校からの報告を踏まえ、平成3年度末までに結論が出される予定

2 完全週休2日制の実施

- (1) 現行の4週6体制から完全週休2日制へ移行させ、職員の勤務時間を1週間について40時間（船員等にあっては42時間）に短縮することが適当

完全週休2日制の実施に当たっては、適切な行政サービスの提供と一層の公務能率の向上等に努め、国民の理解を得る努力を重ねていくことが必要

- (2) 完全週休2日制の実施方法は、日曜日及び土曜日については勤務を要しない日とする完全週休2日制を基本とし、そのため、すべての土曜日を休日とする完全土曜閉庁の導入が必要

ただし、交替制等職員については、弾力的な運用ができるものとするのが適当

- (3) 完全週休2日制は、平成4年度のできるだけ早い時期に実施

3 年間総実勤務時間の短縮に向けて

- 年次休暇の一層の使用促進を図るため、年次休暇の円滑かつ効果的な運用に努力されるよう要請

- 年間総実勤務時間短縮の観点のほか、職員の健康・福祉の面（特に過労死防止）からも、超過勤務のなお一層の縮減に努力されるよう要請

4 社会の変化に対応した勤務時間・休暇制度

- 経済社会や生活構造などの変化に応じた勤務時間・休暇制度の在り方について、引き続き検討（勤務時間の弾力化・新たな休暇制度の導入）

<俸給表>

行政職俸給表

行政職俸給表(一)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10 級	11 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	168,000	197,700	214,300	233,400	251,700	271,900	304,600	342,300	390,200
2	121,000	153,700	173,900	205,400	222,600	241,900	260,500	281,300	316,200	354,500	404,700
3	124,900	160,300	180,000	213,300	231,000	250,400	269,500	290,800	327,800	366,800	419,300
4	129,100	167,300	186,300	221,600	239,200	259,000	278,600	300,700	339,400	379,200	434,000
5	133,800	172,800	193,000	229,900	247,300	267,600	287,900	310,700	351,100	391,700	448,700
6	139,300	177,400	200,400	238,100	255,400	276,300	297,200	320,600	362,900	404,100	463,400
7	144,900	182,000	207,600	246,000	263,500	285,100	306,700	330,500	375,000	416,400	478,400
8	150,400	186,500	214,700	253,900	271,600	294,200	316,300	340,400	387,000	428,700	493,600
9	154,600	190,700	220,800	261,700	279,700	303,300	326,000	350,300	398,800	441,000	508,500
10	157,900	194,900	226,800	269,400	287,800	312,800	335,600	360,200	410,300	453,200	523,400
11	160,700	199,100	232,600	277,100	295,800	322,400	345,100	370,100	421,300	464,000	535,100
12	163,400	203,300	238,300	284,700	303,600	332,000	354,400	380,000	432,200	474,000	542,800
13	165,900	207,500	243,800	292,000	311,400	341,500	363,300	389,600	441,500	482,500	550,100
14	168,100	210,800	249,000	299,300	319,000	350,700	371,200	398,900	449,200	489,800	556,400
15	170,200	213,900	254,000	305,900	325,200	359,100	378,200	406,500	456,600	494,400	561,200
16	171,800	217,000	258,900	312,300	330,900	365,900	384,500	413,600	461,900		
17		220,000	263,400	316,900	336,100	372,300	390,000	418,300	466,600		
18		222,800	267,200	321,000	340,400	376,900	394,800	422,800	470,900		
19		224,800	270,800	325,000	344,500	381,300	399,300	427,200			
20			273,700	327,900	348,200	385,600	403,700	431,200			
21			276,500	330,800	351,500	389,900	407,700	435,000			
22			279,200	333,600	354,800	394,000	411,400				
23			281,900	336,500	358,200	397,800					
24			284,400	339,500	361,500	401,400					
25			286,900	342,400	364,300						
26			289,300	345,200	367,100						
27			291,700	347,600							
28			294,100	350,000							
29			296,500								
30			298,800								
31			301,000								
32			303,200								

行政職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円
1	—	148,400	165,500	181,700	205,400	232,000
2	108,400	154,700	170,900	187,200	211,900	238,800
3	111,800	160,000	176,300	192,900	218,400	245,700
4	115,100	165,400	181,700	199,100	224,900	253,300
5	118,200	170,200	187,100	205,300	231,400	261,000
6	121,800	174,900	192,700	211,600	237,900	269,000
7	126,000	179,600	198,600	217,400	244,100	277,000
8	130,300	184,300	204,400	223,000	249,900	285,100
9	135,600	189,000	210,200	228,500	255,500	293,300
10	141,500	193,800	215,800	234,000	261,100	301,400
11	148,200	198,700	221,100	239,000	266,700	309,300
12	154,500	203,400	226,200	244,000	272,300	317,200
13	159,700	208,100	231,300	249,000	277,900	325,000
14	164,700	212,600	236,100	254,000	283,400	331,800
15	169,100	217,100	240,900	259,000	288,800	338,600
16	173,300	221,200	245,600	264,100	294,100	345,300
17	177,200	225,000	250,500	268,600	299,300	352,000
18	181,000	228,700	255,500	272,900	304,100	358,000
19	184,200	232,400	260,000	276,600	308,600	363,500
20	186,900	235,000	264,200	280,200	312,900	368,500
21	189,600	237,300	267,400	283,600	316,800	373,400
22	192,300	239,600	270,400	286,800	320,700	377,800
23	195,100	241,800	273,000	289,800	323,500	381,200
24	197,700	243,900	275,600	292,900	326,200	
25	200,100	246,000	278,000	295,700	328,700	
26	202,200	248,100	280,400	298,300	331,100	
27	204,400	250,300	282,800	300,800	333,500	
28	206,500	252,500	285,100	303,100		
29	208,600	254,600	287,400	305,300		
30	210,600	256,600	289,600			
31	212,400	258,500	291,600			
32	214,200	260,400				
33		262,300				

教育職俸給表

教育職俸給表(-)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円
1	-	-	226,200	258,900	327,900
2	144,900	182,800	234,600	269,500	339,300
3	152,400	191,100	243,200	280,100	351,000
4	161,400	199,500	252,000	290,700	362,700
5	170,700	207,900	261,400	301,400	374,400
6	177,700	216,300	270,900	312,200	386,100
7	184,700	224,700	280,800	323,000	397,800
8	191,700	233,000	290,800	333,700	409,500
9	199,400	241,400	300,400	344,400	421,200
10	207,700	249,800	309,900	354,900	432,900
11	214,200	258,500	319,400	365,100	444,700
12	222,100	267,000	328,900	374,500	456,600
13	229,600	275,300	338,300	383,700	468,600
14	236,800	282,800	347,700	392,700	480,600
15	243,400	290,200	357,100	401,300	492,800
16	249,900	297,000	366,000	409,600	504,800
17	256,000	303,400	374,600	417,600	515,400
18	262,100	310,000	382,900	425,600	526,000
19	268,200	316,500	390,900	433,300	536,400
20	274,000	322,800	398,800	440,700	546,200
21	279,700	329,000	406,300	448,100	555,100
22	285,200	335,200	413,800	455,500	561,900
23	290,300	341,300	420,500	462,100	567,100
24	295,400	347,300	427,100	468,600	571,900
25	299,500	353,300	431,800	474,400	
26	303,600	358,500	435,600	478,500	
27	307,400	362,600	439,400	482,200	
28	311,100	366,200	443,200	485,700	
29	313,900	369,800	446,500		
30	316,600	373,400	449,700		
31	319,300	377,000			
32	322,000	380,500			
33	324,600	383,900			
34	327,200	387,000			
35	329,700	390,100			
36	332,100	393,100			
37	334,500				

教育職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額
	円	円	円	円
1	—	—	279,100	375,500
2	132,500	172,200	288,700	385,400
3	138,500	178,900	298,200	395,300
4	144,900	185,600	307,800	405,200
5	152,300	192,300	317,400	415,100
6	160,400	199,100	327,000	425,000
7	169,000	206,000	336,600	435,000
8	175,400	213,000	346,200	445,000
9	181,800	220,300	356,000	455,200
10	188,200	228,100	365,900	465,500
11	194,600	236,100	375,600	475,500
12	201,000	245,000	385,300	484,900
13	207,700	254,100	394,500	493,200
14	214,700	263,200	403,800	501,000
15	221,700	272,400	412,900	505,600
16	228,900	281,600	421,900	
17	235,900	290,800	430,800	
18	242,900	300,200	439,900	
19	249,900	309,500	449,000	
20	256,300	318,800	457,300	
21	262,600	328,100	465,300	
22	268,600	337,300	473,000	
23	274,500	346,400	480,000	
24	280,400	355,700	484,200	
25	286,300	364,500		
26	292,100	372,600		
27	297,800	380,700		
28	303,300	388,900		
29	308,600	396,900		
30	312,600	403,900		
31	316,300	410,700		
32	319,900	416,400		
33	323,200	421,500		
34	326,000	426,300		
35	328,600	430,900		
36	331,100	433,900		
37	333,600			
38	336,100			
39	338,200			
40	340,400			

教育職俸給表(三)

職務 の 級	1 級	2 級	3 級	4 級
号 俸	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額	俸 給 月 額
	円	円	円	円
1	—	—	240,800	371,300
2	132,500	146,900	250,200	380,100
3	138,500	154,700	259,800	388,900
4	144,900	162,800	269,400	397,700
5	152,300	172,200	279,100	406,600
6	160,400	178,900	288,700	415,500
7	169,000	185,600	298,200	424,400
8	175,400	192,300	307,800	433,100
9	181,700	199,100	317,400	441,000
10	188,000	206,000	326,900	448,900
11	194,000	213,000	336,400	456,300
12	200,000	220,300	345,200	463,600
13	206,100	228,100	354,000	469,700
14	212,700	236,100	362,700	475,000
15	218,900	245,000	371,400	479,100
16	225,100	254,100	379,700	
17	231,200	263,200	387,900	
18	237,200	272,400	396,200	
19	243,000	281,600	404,500	
20	248,700	290,800	412,600	
21	254,000	300,200	420,200	
22	259,200	309,400	426,900	
23	264,000	318,600	433,200	
24	268,600	327,800	438,400	
25	272,400	336,100	442,700	
26	276,100	344,200	446,400	
27	279,400	352,300	449,600	
28	282,300	360,100	452,600	
29	284,900	367,600		
30	287,400	374,600		
31	289,700	381,400		
32	292,100	388,000		
33	294,200	394,000		
34		400,000		
35		405,200		
36		409,700		
37		414,000		
38		417,900		
39		420,500		

医療職俸給表

医療職俸給表(二)

職務 の級	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
号 俸	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額	俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	185,400	207,500	241,800	281,200	314,500	379,200
2	125,100	158,400	191,900	215,200	250,700	290,600	326,000	391,500
3	130,200	164,400	198,800	223,000	259,700	300,200	337,600	404,000
4	136,400	170,400	206,400	230,900	268,700	309,800	349,300	416,800
5	142,700	176,400	214,000	239,000	277,700	319,400	361,000	429,700
6	149,500	182,500	221,700	247,100	286,700	329,100	372,900	442,600
7	156,200	188,600	229,500	255,200	295,900	338,900	385,100	456,000
8	162,200	194,700	237,400	263,400	305,200	348,800	397,200	469,900
9	168,000	201,300	245,300	271,600	314,600	358,900	409,200	483,300
10	173,100	208,200	253,200	279,900	324,100	369,100	420,600	496,300
11	177,900	215,000	261,100	288,200	333,700	379,200	431,900	504,200
12	182,500	221,200	268,900	296,400	342,900	389,000	441,500	511,400
13	186,900	227,300	276,700	304,500	351,800	398,500	449,200	518,200
14	190,900	233,300	284,500	312,400	360,200	406,300	456,600	524,700
15	195,100	239,000	292,100	320,300	367,200	413,500	464,000	530,200
16	199,300	244,500	299,600	326,400	374,000	418,300	468,600	534,700
17	203,500	249,700	306,600	332,300	379,800	422,800	472,900	
18	207,700	254,800	313,400	338,100	385,300	427,200		
19	211,100	259,600	318,300	342,400	389,900	431,200		
20	214,100	264,200	322,900	346,600	394,200	435,000		
21	217,000	267,800	326,800	350,600	398,400			
22	219,400	270,600	330,000	354,300	402,200			
23	221,400	273,400	332,900	357,700	405,800			
24		276,000	335,800	360,900				
25		278,500	338,600	363,800				
26		280,700	341,400	366,600				
27			344,200					
28			346,700					
29			349,100					

医療職俸給表(三)

職務 の 号 俸	1 級 俸給月額	2 級 俸給月額	3 級 俸給月額	4 級 俸給月額	5 級 俸給月額	6 級 俸給月額	7 級 俸給月額
	円	円	円	円	円	円	円
1	-	-	199,600	219,800	250,400	284,800	316,400
2	136,900	161,700	205,000	226,700	258,400	294,000	328,000
3	141,900	169,300	212,000	233,700	266,500	303,400	339,600
4	147,400	177,200	218,900	240,700	274,600	313,100	351,300
5	153,000	182,200	225,700	247,700	282,600	323,000	363,100
6	160,700	187,300	232,500	254,900	290,600	332,900	375,200
7	168,300	192,400	239,300	262,200	298,600	342,800	387,300
8	175,900	197,800	246,200	269,600	306,500	352,700	399,300
9	180,900	203,200	253,200	277,000	314,300	362,900	411,200
10	185,900	209,800	260,200	284,600	322,200	373,300	423,000
11	190,800	216,400	267,300	292,100	330,100	383,700	434,800
12	195,700	222,900	274,500	299,600	338,100	393,800	445,500
13	200,500	229,200	281,800	307,100	346,100	403,900	454,600
14	205,400	235,500	289,200	314,600	354,100	413,600	463,400
15	210,600	241,800	296,500	322,000	362,300	423,100	471,600
16	216,000	248,100	303,800	329,200	370,500	432,000	478,900
17	221,300	254,400	310,800	336,400	378,200	440,600	483,800
18	226,600	260,600	317,800	343,500	385,000	448,600	488,200
19	231,800	266,300	324,600	350,500	390,400	455,700	492,200
20	237,000	271,900	331,300	356,600	395,400	460,400	
21	241,900	277,500	337,900	362,400	400,300	464,700	
22	246,800	282,900	344,100	368,000	404,400	468,400	
23	251,300	288,300	349,500	372,400	408,000		
24	255,600	293,700	354,700	376,500	410,700		
25	259,800	299,100	359,500	380,100			
26	263,900	304,500	363,300	383,500			
27	267,700	309,300	367,000	386,500			
28	271,300	313,700	370,100	389,100			
29	274,200	318,100	373,100				
30	277,000	320,900	375,900				
31	279,700	323,700	378,400				
32	282,400	326,400					
33	285,000	329,100					
34	287,500	331,800					
35	289,800	334,200					
36	292,000	336,600					
37	294,200	339,000					
38		341,400					

指定職俸給表

号 俸	俸 給 月 額
	円
1	5 4 1, 0 0 0
2	5 9 9, 0 0 0
3	6 6 6, 0 0 0
4	7 3 9, 0 0 0
5	7 9 6, 0 0 0
6	8 5 5, 0 0 0
7	9 3 4, 0 0 0
8	1, 0 1 2, 0 0 0
9	1, 0 8 7, 0 0 0
1 0	1, 1 6 3, 0 0 0
1 1	1, 2 3 2, 0 0 0
1 2	1, 2 5 7, 0 0 0

(備考) 各俸給表の備考は、現行どおりとする。

- 18日 附属小学校第1学期終業式
附属幼稚園第1学期終業式
- 19日 学部補導委員会
- 19～20日 日本教育大学協会家庭科部門北陸地区研究協議会（於：金沢大学）
- 20日 附属中学校第1学期終業式
附属養護学校第1学期終業式
- 22日 学部補導委員会（持ち回り）
- 23日 学部将来計画委員会
- 24日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
- 25日 学部予算委員会
大学院設置準備委員会
- 26日 学部将来計画委員会
- 29～30日 全国国立大学附属幼稚園教育研究集会
（於：名鉄トヤマホテル）
- 31日 学部説明会
- 8月
- 24～25日 呉山会レクリエーション（於：和倉温泉）
- 30日 附属小学校第2学期始業式
- 31日 附属中学校第2学期始業式

経 済 学 部

- 7月1日 日本海経済研究所運営委員会
- 3日 学部入学方法検討委員会
財務委員会
係長会議
- 8日 夜間主コース運営委員会
係長会議
- 10日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
- 13日 授業終了（3、4年生）
- 15日 係長会議
- 17日 授業終了（夜間主コース2年生）
- 18日 学部留学生委員会
- 25日 授業終了（大学院経済学研究科）
- 31日 学部教務委員会と大学教育改善検討委員会
委員との臨時合同委員会
- 8月26日 係長会議

- 31日 学部親睦会レクリエーション
（於：芦原温泉）（～9月1日）

理 学 部

- 7月3日 学部教務委員会
大学院構想懇談会
学科主任会議
- 10日 教授会
理学研究科委員会
人事教授会
真率会レクリエーション（ビア・パーティ）
- 15日 係長会議
- 17日 教育改革問題等懇談会
- 19日 係長会議
- 23日 教育改革問題等懇談会
- 31日 大学説明会
- 8月1日 学部教務委員会
学部図書委員会
- 9日 学部補導委員会
- 29日 学科主任会議

工 学 部

- 7月1日 係長連絡会
- 3日 編入学試験
- 4日 工学部温交会幹事会
係長連絡会
- 9日 学部運営委員会
- 10日 拡大教務委員会
学部教務委員会
- 12日 学部教務委員会
- 16日 学部入学試験検討委員会
学部教育用端末機利用委員会
- 17日 教授会
専任教授会
工学研究科委員会
- 19日 紀要委員会
編入学試験合格者発表
- 23日 拡大教務委員会
選考委員会
- 25日 工学研究科委員会

- 29日 工学部温交会レクリエーション
31日 博士課程設置準備委員会
工学部説明会
8月1日 電気主任技術者の学校認定に伴う名古屋通
商産業局の立入調査
学部運営委員会
選考委員会
2日 北陸信越工業教育協会富山県支部総会及び
講演会（於：工学部）
3日 拡大教務委員会
5日 係長連絡会
学部補導委員会
9日 学部概要編集委員会
26日 博士課程設置準備委員会
図書委員会
27日 第19回北陸三大学工学部スポーツ交歓会
（於：金沢大学）

教 養 部

- 7月3日 予算委員会
教務委員会
将来計画委員会
10日 予算委員会
16日 特昇その他給与に関する委員会
18日 将来計画委員会
夏季休業（～9月1日まで）
夜間主コース夏季休業（～9月1日まで）
19日 将来計画委員会
23日 将来計画委員会
教務委員会
24日 人事教授会
教授会
29日 教授会
31日 将来計画委員会
8月30日 将来計画委員会

附 属 図 書 館

- 7月4日 係長連絡会
16日 第1回書香編集委員会
18日 第3回附属図書館商議会
8月2日 係長連絡会
27日 係長連絡会

水素同位体機能研究センター

- 7月29日 平成3年度第2回水素同位体機能研究セン
ター運営委員会
8月29日 平成3年度第2回水素同位体機能研究セン
ター専門委員会

地域共同研究センター

- 7月12日 地域共同研究センター運営委員会
8月1日 第5回経営者研究者交流会実行委員会
（於：富山技術開発財団）
2日 北陸工業協会関係者視察
12日 地域共同研究センター運営委員会
23日 鳥取県関係者視察

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福 3 1 9 0
印刷所 あげぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 175540